



広島文化学園大学 学芸学部 音楽学科

宮崎真一 公開講座

「サクソフォン180年の物語」

アドルフ・サククスから最新機種まで!様々な時代のサウンドを体験しよう!

2026年

7月4日 sat

14:00~16:00

(13:30 受付開始)

14:00 公開講座「サクソフォン180年の物語」

15:00 ヴィンテージサクソフォン体験 &
ミニコンサート

広島文化学園大学
広島 長束キャンパス
音楽講義室 (本館5階)

参加費
聴講料
無料



宮崎 真一

【賛助出演】



各川 芽



上田 啓二

【お問い合わせ】



学校法人広島文化学園

広島文化学園大学

Hiroshima Bunka Gakuen University

学芸学部 音楽学科 (広島 長束キャンパス)

〒731-0136 広島県広島市安佐南区長束西3-5-1

Tel: 082-239-5171(代)

Mail: k-ueda@hbg.ac.jp (担当/上田)

【バス利用】 広島交通「広島文化学園大学・短期大学」行き
または「文化学園・祇園が丘」行きで
「広島文化学園大学・短期大学」バス停下車

【JR利用】 JR可部線「安芸長束」駅下車、約800m

【駐車場】 あり

宮崎真一 公開講座「サクソフォン180年の物語」



宮崎 真一

クラシック／現代音楽のサクソフォニストとして国内外での数々のコンサートに出演。クセナキスやドナトーニ作品など数々の日本初演を行なう。近年ではJ.P.バラグリオリ、J.クサンゾウダキス、P.スリカラノンダなど海外アーティストと共演。サクソフォンの歴史とピリダアプローチに力を入れ、国立音楽大学においてガーシュウィン「ラブソディ・イン・ブルー初演版」（2016）の再現公演に7種類の楽器で参加するほか、世界サクソフォン会議（ストラスブール2015、ザグレブ2018）におけるアドルフ・サククス含む19世紀サクソフォンのアンサンブル、レクチャーコンサート「サクソフォンストーリー」（2022）、ナビゲーターとして日本管楽学会「雲井雅人レクチャー&コンサート」（2025）など精力的に活動する。楽器史研究家として国立音楽大学音楽研究所「サクソフォンの歴史とアメリカ音楽」（2016）、東京音楽大学（2017）、第39回ジャパン・サクソフオーンフェスティバル「宮崎真一のサクソフォン博物館」（2023）タイ国立シーナカリンウィロート大学（2024）など各地でレクチャー&コンサートを行なう。また管楽器専門誌「パイパーズ」（杉原書店）において100回を超える連載「ヴィンテージSAXの遊び方」のほか「サクソフォン興亡史」（2013）「ナチス時代の音楽とサクソフォン」（2022）など特集記事を寄稿。現在は「Sax World」（シンコーミュージック）での連載「ビンテージ・サククス・ミュージアム」本文を担当。蒐集家としてヴィンテージサクソフォンを中心に100を超える木管楽器を動態保存し、展示や演奏に活用する。このほか愛好家団体の主宰、YouTube（youtube.com/@SAX-TA）において演奏動画を毎週更新するなど、社会教育活動にも力を入れている。国立音楽大学卒業。石渡悠史、下地啓二、雲井雅人の各氏に師事。

【賛助出演】

各川 芽

東京音楽大卒業。東京コンセルヴァトアール尚美ディプロマコース修了。ソロリサイタルSOPRANISSIMO!をはじめ、数多くのコンサートに出演。「トラクシオン・アヴァン」のメンバーとして、世界／日本初演も多く手がけるほか、2011年東日本大震災を機にLIFE-WORK PROJECTを立ち上げる。また各地で講師やコンテストの審査員を務めるほか編曲家としても数多く楽曲を提供している。サクソフォン宮崎真一と共に「ザッキー&メグムンとサククスが吹き隊」の顧問をつとめる。また「サクソフォンラージアンサンブルISLE」においても編曲や指導、演奏を担当している。埼玉新演奏家連盟理事。音楽笑楽団・音故知新。石森管楽器講師（新宿区）、「SaClaアーツ」登録アーティスト。



上田 啓二

広島大学卒業後、ボルドー国立音楽院に入学。サクソフォンでブルミエブリ（1等賞）及びボルドー市名誉賞を得て卒業。また、室内楽でもブルミエブリを受賞する。滞仏時には、ボルドー市のウインドアンサンブルやF.バロンサクソフォンカルテットで演奏活動するかたわら、タランス市の音楽学校で講師をつとめる。また、インターナショナルサクソフォンアンサンブルのコンサートマスターをつとめながら、カルテット、アンサンブルでのテレビコンサート出演などを行う。帰国後はミューズサクソフォンカルテット、オールサクソンソンプルを主宰し、古楽器となったC-Melody Saxのオリジナル作品発掘、翻訳執筆活動を行う。現在はチューバックスBb(コントラバスサククス)からソプラニーノまでサクソフォン同属楽器による大編成のアンサンブルであるメイプル&ローズサククスオーケストラの指揮や編曲を行い、アンサンブルの可能性を追求する傍ら、演奏者が生涯を通じて楽器演奏やその演奏レベル維持、向上を可能にする「演奏家のためのボディワーク」を指導している。井上敬三、富岡和男、阪口新、ジャン・マリ・ロンデックスの各氏に師事。現在、広島文化学園大学 音楽学科学科長 教授。

